

知的財産活用フォーラム
ヤクルト本社の海外ブランド活用戦略について

2012年1月23日

(株)ヤクルト本社 開発部 理事

野方 健一郎 (Ph. D.)

ヤクルト本社の海外展開とブランド活用戦略

1. 当社の紹介、海外展開の状況
2. 商標を中心としたブランド戦略
3. ブランド管理の問題点
4. ブランド価値の評価
5. + α の要素について
6. その他、まとめ

1. 当社の紹介(1) (創業期⇒プラ容器の導入)

- ・1935年頃、福岡で乳酸菌飲料の製造
・販売を開始(代田保護菌研究所)



- ・当初は、各地域組織へのフランチャイズ的に展開したが、
1955年に製造工場や各地の販売会社を統括する組織として「(株)ヤクルト本社」設立
- ・1967-68年 現行のプラスチック
容器の導入





(32の国と地域)

1. 当社の紹介(2) 海外展開の歴史

- ・1964年、最初の海外展開として、台湾ヤクルト営業開始
- ・1968-69年、ブラジルヤクルト、香港ヤクルト営業開始
- ・1970年代、タイ、韓国、フィリピン、シンガポール進出
- ・1980-90年代、メキシコ、インドネシア、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ(当初オランダ、ベルギー、ドイツ、英国)
- ・2000年代、中国、マレーシア、ベトナム、インド

総人口 約48 億人 約3,000万本／日

<2010 Jun.>

2. 当社のブランド戦略(1) 海外商標戦略

対象商標

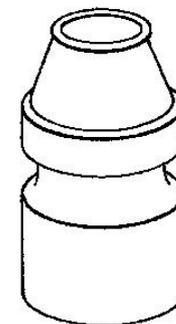
(1) ブランドロゴ

Yakult

(2) 商品ロゴ



(3) 立体商標



出願国、出願方法

進出国、進出予定国において、
29類(乳製品)、32類(清涼飲料)等について出願・権利化
漢字など現地語表記についても、必要に応じ出願。

その他

ライセンス登録の要否なども考慮して維持管理。また、R
マークの使用も含めたデザインマニュアル。

2. 当社のブランド戦略(2) 海外のヤクルト(单品)



台湾



香港



豪州



韓国



フィリピン



インドネシア



タイ



上海



米国



ブラジル



シンガポール



メキシコ



ヨーロッパ



ベトナム



インド

2. 当社のブランド戦略(3) 海外のヤクルト(マルチパック)



3. ブランド管理の問題点・商標的防衛での限界

(1) 中国における問題事例

(2) 米国における問題事例

3. 商標防衛上の問題事例(1)

(1) 当社の漢字圏での漢字表記
台湾「養樂多」、香港「益力多」、中国「益力多」&「養樂多」

(2) 一文字違い商標
「養力多」、「益樂多」等々

(3) 通販サイトでは、乳酸菌
飲料の一般名称的な使
用事例 多数



3. 商標防衛上の問題事例(2)

(1) 米国での漢字表記の使用
西海岸のアジア人居住地区
のスーパー等

(2) 海外での日本語表記の
使用



各国制度上の相違もあり、ブランドの防衛は商標制度の活用だけでは、限界があると感じる。

4. ブランド価値の評価

(1) 乳酸菌飲料の場合

当社「ヤクルト」の市場価格

5本パックで、178円程度

競合品の市場価格

10本で、158円程度

これだけの価格差があっても、競争力がある。

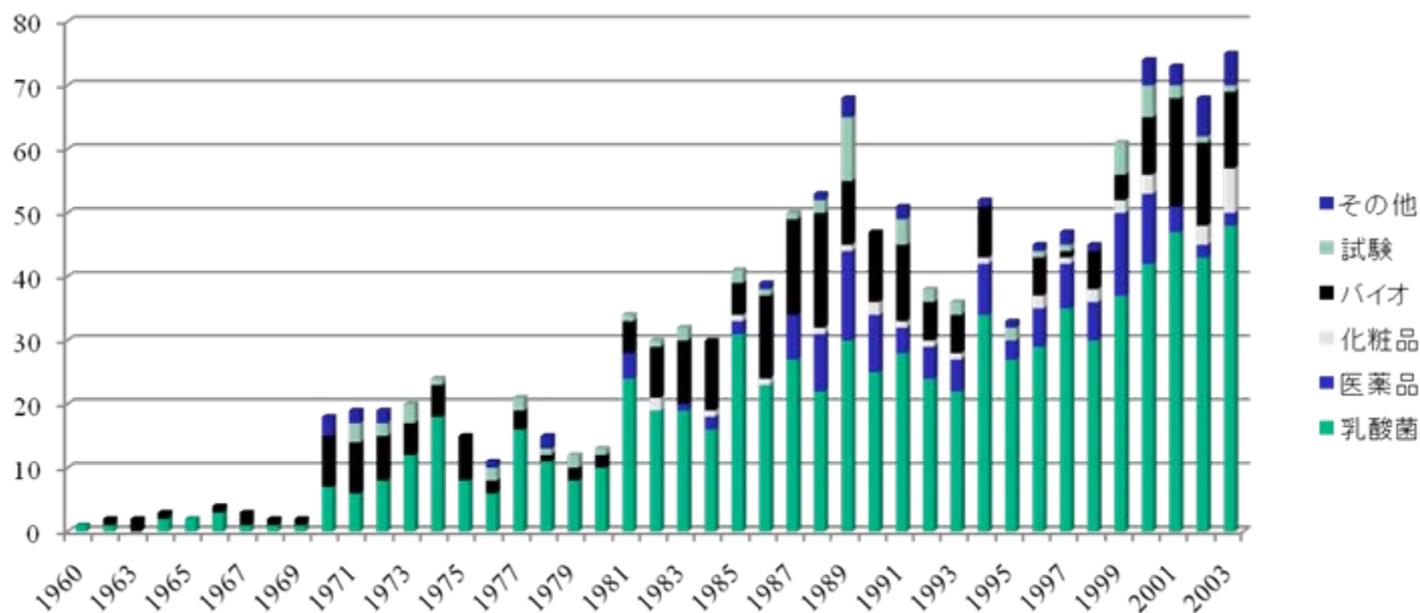
(2) その他の飲食品類

「ヤクルト」のようなブランドによる差別化はできていない。



5. + α の要素(1)

- (1) 乳酸菌(プロバイオティクス)に関する過去半世紀の研究成果の蓄積
 整腸効果、悪玉菌の減少、食中毒菌への効果、栄養状態の改善、
 免疫力の回復・増強、発がんの抑制、アレルギー症状の改善、等々



5. + α の要素(2)

(2) 営業最前線への教育 「説明型の商品」



(3) これらの成果を活用した広報活動
栄養士や給食関係者等を対象とした講習会等の開催

5. プラス α の要素 (3)

(1) 公的認証制度、私的認証機関の活用

- ・ トクホ制度
- ・ ヘルスクレーム

(2) 現地のオピニオンリーダーとのパイプ

(3) 法令順守

- ・ 安全、安心

6. その他

- ・ただのり的表現への対策

「ヤクルト」と同じような効果……

「ヤクルト」と同じ菌が含まれています……

7. まとめ

- ・出所表示、商品表示としてのブランドに、他社が簡単に追随できないような+ α の要素を組み合わせることにより、ブランドの価値を高めつつ、他社との差別化を図る。
- ・+ α の要素は、商品によって相違すると思うが、食品の場合安心・安全につながる品質に関わる要素がその一つであり、このことは、日本国内に限らず、国際的にも通用する時代になっている。

以上



ご静聴ありがとうございました。

来シーズンはがんばります。